

業務仕様書

この業務仕様書は、独立行政法人国際協力機構 沖縄国際センター（以下、発注者）が実施する「沖縄国際センター宿泊棟本館漏水修繕工事」に関する業務の内容を示す。

本件受注者は、本業務仕様書及び「独立行政法人 国際協力機構（JICA）建物・設備等請負工事实施要領（業務仕様書補足資料）」（以下、「実施要領」という。）に基づき本件業務を実施する。

1. 工事名称 沖縄国際センター宿泊棟本館漏水修繕工事

2. 工期（予定） 2018年8月31日

3. 施設概要

- (1) 対象建物 沖縄国際センター 宿泊棟本館
- (2) 工事場所 沖縄県浦添市前田 1143
- (3) 対象設備 建物
- (4) 敷地面積 31,140.37 m²
- (5) 建物概要 下表による。（●印は工事の対象となる棟を示す）

表 建物概要

	管理研修棟	厚生棟	●宿泊棟 本館	体育館
竣工年	1984	1984	1984	1984
建築面積m ²	1,489.95	760.87	1,183.18	1,087.42
延床面積m ²	3,652.29	1,374.52	3,138.62	984.58
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
規模	地上3階	地下1階 地上2階	地上3階	地上1階

	給水塔	ニライホール	宿泊棟 別館	エネルギーセンター
竣工年	1984	1999	1999	2014
建築面積m ²	16.24	536.99	433.63	130.17
延床面積m ²	80.40	1,216.24	900.27	130.17
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
規模	地上5階	地上3階	地上3階	地下1階

(6) 設備概要 下表による。

表 設備概要

共用部冷房用空調設備	宿泊室冷房用空調設備	排煙設備
①パッケージエアコン【106組・電気】 ②マルチパッケージエアコン【9組・電気】 ③ガスヒートポンプマルチエアコン【3組・ガス】	パッケージエアコン【105組・電気】	自然排煙
給水設備	共用部給湯設備	宿泊室給湯設備
受水槽【45m ³ 】+ポンプ+給水塔【25m ³ 】	①電気温水器 【局所給湯方式・電気】 ②ガス瞬間湯沸器 【局所給湯方式・都市ガス】	①温水ボイラー 【中央給湯方式・都市ガス】 ②太陽熱温水器 【中央給湯方式・太陽熱】
排水設備	消火設備	ガス設備
下水道利用	屋内消火栓	都市ガス
受変電設備	非常用発電機設備	補助電力設備
高圧受電	ディーゼルエンジン（500kVA） オイルサービスタンク（A重油 1950L）	太陽光発電設備
水槽類	エレベータ設備	中央監視設備
①受水槽【45m ³ ・市水用・FRP製】 ②井水槽【井水用・コンクリート製】 ③給水塔【25m ³ ・市水用・便所洗浄水用（井水）・コンクリート製】 ④貯湯槽【4m ³ ×2台・給湯用・ステンレス製】 ⑤太陽熱集熱槽【4.4m ³ ・給湯用・ステンレス製】 ⑥汚水槽【汚水用・ピット】 ⑦雨水槽（厚生棟）【雨水用・ピット】 ⑧雨水槽（東屋）【散水用・ピット】	5台（管理研修棟1台・ロープ式、厚生棟1台・油圧式、宿泊棟本館1台・ロープ式、宿泊棟別館1台・ロープ式、ニライホール1台・油圧式）	中央監視装置（BAS）

4. 工事概要

沖縄国際センター宿泊棟本館漏水修繕工事に係る、下記項目の工事を実施する。

(1) 渡り廊下接合部修繕工事

宿泊棟本館と渡り廊下 2 との基礎取り合い部に空隙があり、配管用の貫通孔より地下ピットへの雨水等の侵入防止しているおそれがある。そのため、貫通孔を閉塞の上、空隙を流動化処理土により埋め戻す。詳細は「業務仕様書別紙 1 工事概略図」による。

(2) 共用廊下エキスパンションジョイント漏水修繕工事

各階共用廊下の天井と壁面取り合い部のエキスパンションジョイント廻りより漏水跡が見られるため、エキスパンションジョイントを取り外し雨水侵入箇所の修繕を行い、エキスパンションジョイントを再取り付けする。また、劣化した部分の内装仕上げ材の修繕を行う。詳細は「業務仕様書別紙 1 工事概略図」による。

5. その他与条件

- (1) 本工事は施設利用中の工事（居ながら工事）であるため、施設利用者等の安全に十分配慮すること。また、作業の振動・騒音、作業員・資材・建設機器等の動線などに留意し、施設利用に支障が生じないように十分に配慮する。
- (2) 渡り廊下接合部修繕工事においては、現状把握のため周囲の試掘りを行い、具体的修繕工法を工事担当職員に提案すること。
- (3) 共用廊下エキスパンションジョイント漏水修繕工事においては、現状把握のためエキスパンションジョイントを取り外し、漏水原因の特定を行い、具体的修繕工法を工事担当職員に提案すること。
- (4) 上記の提案により、当初予定していた工事内容から変更が生じる場合は、工事担当職員と協議の上、決定すること。
- (5) 別途工事中である沖縄国際センター給水塔改修工事との工程を調整し施設利用者等の安全に十分配慮すること。

6. 添付資料

業務仕様書別紙 1 「工事概略図」

7. 貸与品

関連する図面等一式

8. 施工図等

工事実施に先立ち、仮設計画書を作成し工事担当職員の承諾を得、試し掘り及びエキスパンションジョイントの取り外しを行う。また、具体的修繕工法が確定したのち施工図を作成し工事担当職員の承諾を得ること。

9. 工事の記録

工事記録写真は以下のとおり作成し、完成時の提出図書とともに提出する。

(1) 工事記録写真 2部

- ① 工事記録写真（工事着手前・工事中）は、日付入り印刷で提出する。
- ② 工事写真の撮り方は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修：工事写真の撮り方（建築編・建築設備編）による。
- ③ 撮影に使用する撮影器具等はデジタルカメラとする。なお、工事担当職員と協議のうえ、フィルムカメラも使用出来る。撮影後、データプリント又はフィルム現像を速やかに行い、工事用アルバム等に整理する
- ④ 工事用アルバムは、原則、A4サイズの用紙にサービス版程度を基準にした数枚の写真をプリントする。アルバムの体裁・印字方法・枚数等は工事担当職員の指示による。

10. 発生材の処理等

本工事撤去作業で発生した廃棄物は、産業廃棄物処理法の規定に基づき元請事業者が排出事業者として適切に廃棄した後、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを完成図書と共に発注者に提出すること。

11. 完成時の提出図書

完成図、保全に関する資料に加え、完成写真を2部提出すること。

・完成写真 2部

- ①完成写真は工事前後を同一アングルにて撮影し、対比して整理する。
- ②現況及び完成写真は日付入りとする。
- ③デジタルデータは完成写真帳（EXCEL）にまとめたものとする。

12. 工事概要シートの提出

工事完了時に発注者が貸与する様式シートに必要事項を記入し、電子データおよびA4版印刷したものを提出すること。